

『まんぷくTAKANABE』で お腹も心も満たしましょう♪



平成28年度から「高鍋デザインプロジェクト」を開始しました。
この事業は、高鍋町の商品ブランドコンセプトを確立したうえで、町内の事業者による特産物を中心とした商品の既存パッケージデザインに新たなデザインの導入を図っていくというものです。

心も満たす おくりもの

まんぷく
TAKANABE

そのブランドコンセプトが「まんぷくTAKANABE」です。ブランドコンセプトの役割は、商品の生まれた背景、つまり地元の歴史や環境、人を理解していただくための大きな柱となるものです。この「まんぷく」には、石井十次先生の「満腹主義」に基づき、「お腹が満たされるだけでなく、心が満たされる商品」を提案していきたい」という思いが込められており、商品とその商品デザインによって高鍋町全体の魅力を伝えていくことができるようなブランドづくりを行っていきます。

新たなデザインをまとってリニューアルした個々の商品に興味を持ってもらい、実際に手に取ってもらったことで、その商品の持つ本質価値の理解につながり、新たな需要の掘り起こしと拡大を目指していきます。

参加事業者

- ◆ 河野製茶工場
- ◆ (株)餃子の馬渡
- ◆ (有)たかなベギョーザ
- ◆ ながとも農家
- ◆ (有)長谷川修身商店
長谷川だんご
- ◆ (株)ひよっこ堂
- ◆ (有)藤原牧場
- ◆ べにはな
- ◆ (株)ヤミー・フードラボ



河野製茶工場
お茶「ヨラン/ミドリ」



4月27日(木)、プロジェクト商品の第一弾として町内産や県内産の素材を活かした新商品のお披露目がありました。
今後は、県内外で販売していくほか、ふるさと納税の返礼品としての活用なども検討されています。

まんぷくな屋下がり
〜新商品たちのお披露目・販売会〜



ひよっこ堂
シロップ「おやたんこみる」



ながとも農家
ひまわりキャベツ加工品



たかなベギョーザ×餃子の馬渡
餃子食べ比べセット



べにはな
ステーキソース
「べにはなの辛味」昭和の秘伝



藤原牧場
牛すじしぐれ煮の焼酎もろみ
漬けサイコロステーキ

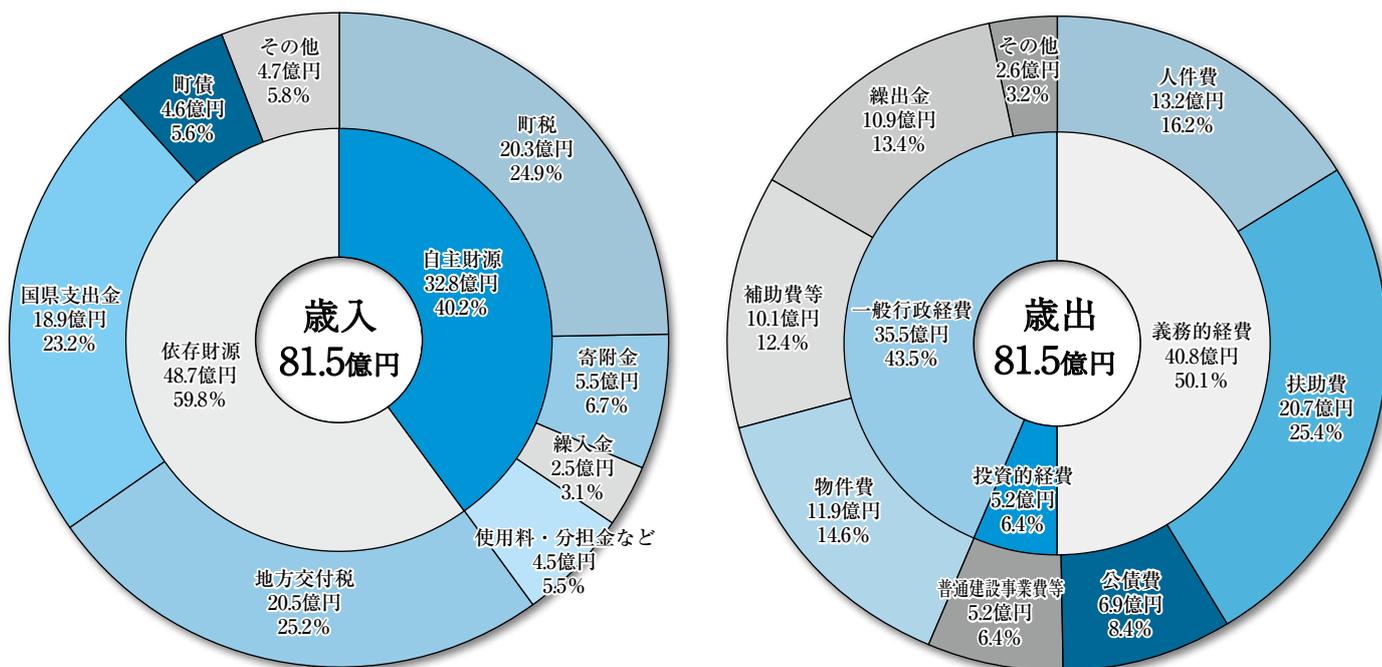


ヤミー・フードラボ
小分け珍珠8種

平成29年度 高鍋町一般会計当初予算 81億5,600万円

平成29年度高鍋町一般会計当初予算は、2月に執行された町長選挙に伴う骨格予算として、最低限必要な経費にしぼり予算編成し、総額81億5,600万円、前年度比4億6,100万円の増となりました。増額の要因としては、ふるさと納税寄附金を5億5,000万円見込み計上したほか、津波避難タワー建設、臨時福祉給付金事業、尾鈴地区土地改良県営事業負担金など国県補助を伴う事業の実施、扶助費をはじめとする社会保障経費が伸び続けている影響などが挙げられます。

一般会計予算の歳入・歳出の内訳と構成比率



※四捨五入など端数調整のため計数が一致しない箇所があります。

自主財源	町が自らの権限や財産等により得る収入です。
依存財源	国・県などから交付されたり、借りたりして得られる収入です

義務的経費	町が必ず支出しなければならない経費です。
投資的経費	道路や建物などの資産を増やし、町民生活の利便性などを向上させるための経費です。
一般行政経費	町が各種事業を実施するための経費です。

※ () 内は前年比

一般会計		81億5,600万円 (6.0%)		
特別会計	国民健康保険	32億4,071万5千円 (0.7%)	介護認定審査会	1,061万円 (1.1%)
	後期高齢者医療	5億227万1千円 (5.4%)	一ツ瀬川雑用水管理事業	2,698万9千円 (13.5%)
	下水道事業	5億8,263万8千円 (12.7%)	西都児湯固定資産評価審査委員会	26万円 (△41.4%)
	介護保険	22億3,168万6千円 (12.7%)	特別会計合計	65億9,516万9千円 (5.9%)
一般・特別会計合計		147億5,116万9千円 (6.0%)		

水道事業	収益的収入	4億6,318万2千円 (1.2%)	収益的支出	4億2,792万3千円 (△6.1%)
	資本的収入	5,000万3千円 (△37.5%)	資本的支出	2億7,325万3千円 (△27.8%)

平成29年度に実施する主な事業と新規事業を紹介します

ふるさと納税推進事業 4億880万円

ふるさと納税の寄附者へお礼として特産品などの返礼品を贈るための経費です。

臨時福祉給付金事業 8,536万円

国の28年度補正予算に基づき、一定条件を満たす世帯に給付金を支給します。

新 子ども家庭支援センター事業 707万円

子育て世帯のあらゆる相談に対応する高鍋町子ども家庭支援センター「みらい」を設置します。

尾鈴地区土地改良県営事業負担金 9,040万円

県が実施する高鍋町と川南町にまたがるほ場の畑地かんがい施設整備に係る負担金です。

津波避難タワー建設事業 1億1,602万円

津波発生時、津波避難ビルへの避難が困難な地域の避難施設として津波避難タワーを建設します。

中学校非常勤講師配置事業 638万円

生徒へのきめ細かい対応や少人数指導を行うため非常勤講師を配置します。

蚊口地区学習等共用施設空調設備改修事業 600万円

避難所に指定されている蚊口地区学習等共用施設の老朽化した空調設備を改修します。

新 西都児湯消費生活相談センター事業 696万円

西都児湯7市町村で共同して消費生活等の相談に対応する消費生活相談員を配置します。

新 障がい者（児）防災減災対策事業 159万円

障がい者（児）の防災・減災に関するニーズ把握のためのアンケート等を実施します。

新 農地利用最適化推進事業 294万円

農業委員会法改正に伴い農地利用最適化を推進するため、農地利用最適化推進委員を新たに配置します。

社会資本整備総合交付金事業 1億7,908万円

橋梁の修繕・点検のほか、安全で快適な道路環境整備のため、歩道の設置や道路改良などを実施します。

新 地震ハザードマップ作成事業 533万円

住宅の耐震化を進めるため震度マップ（揺れやすさ）と住宅被害マップ（地域の危険度）を作成します。

学校生活支援員配置事業 1,585万円

学校生活の適応が困難な児童・生徒への支援を行う学校生活支援員を配置します。

新 古文書複製品作成事業 88万円

県有形文化財に指定されている豊臣秀吉朱印状などを良好に保存するため、複製品を作成を行います。

全国からお寄せいただいた多くの寄附に感謝!!

子どもたちの笑顔あふれるふるさとづくりなど7,260万円を活用

平成28年度に全国の寄附者の皆さまから申し込みいただいたふるさと納税の寄附実績見込みは、37,886件 5億7,854万1千円（平成29年4月30日現在）となりました。寄附者の方に贈った返礼品などの経費を差し引いて、ふるさとづくり基金に積み立てた寄附金から7,260万円を寄附金用途のテーマに沿った事業に活用させていただきます。

歴史と文化が香るふるさとづくり 240万円

姉妹都市交流事業、姉妹都市スポーツ少年団交流事業、図書館図書購入など

子どもたちの笑顔あふれるふるさとづくり 4,330万円

各種予防接種、乳幼児健康診査、子ども医療費助成、小中学校教材備品購入、学校生活支援員配置など

自然環境を守るふるさとづくり 290万円

ヤンバルトサカヤスデ駆除剤購入、環境保全嘱託員配置など

心安らかに暮らせるふるさとづくり 50万円

緊急通報システム事業、地域防災力向上補助事業など

産業が輝くふるさとづくり 650万円

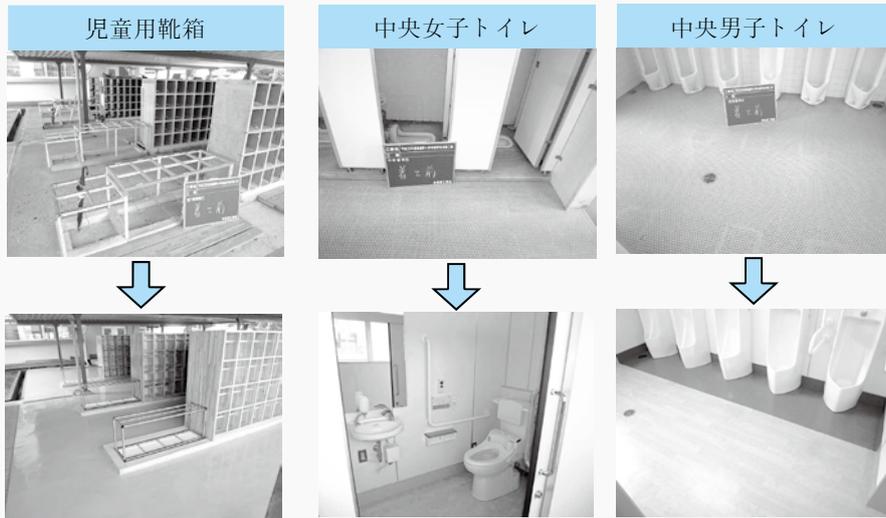
環境保全型農業育成支援事業、農村イベント開催費補助事業、産業後継者親元就業支援事業など

町政一般 1,700万円

高鍋城灯籠まつり、たかなべ未来づくり事業、福祉バス運行事業、地域資源付加価値向上事業など

再編交付金で学校施設が整備されました

町では新田原飛行場関連再編関連特別事業（再編交付金事業）を利用し、生活環境の向上や地域活性化を図るための各種事業を行っています。昨年度は、教育環境の改善を図るための整備が行われました。



高鍋東小学校施設改修工事
 ⇒中央男子トイレ
 ⇒中央女子トイレ
 ⇒児童用靴箱



◆高鍋東小学校教育環境改善事業
 高鍋東小学校は、ほとんどの校舎が建設されてから30年以上が経過し、老朽化が進んでいます。特にトイレについては、衛生環境の改善だけでなく、学校が町の避難所にも指定されていることから、和式トイレの洋式化やバリアフリー化など、だれもが快適で使いやすいトイレに改善することが緊急な課題でした。これまで、再編交付金事業を利用し、校舎内のすべてのトイレ、また昇降口を始めとする設備の改修を行ってきました。この事業も昨年度で終了し、児童にとつての「学びの場」である校舎の環境改善を図ることができました。

平成28年度 たかなべ未来づくり事業報告

住民参画による快適で美しいまちづくり

「たかなべ未来づくり事業」は、将来にわたって町民が誇りを持ち、個性的で魅力ある地域社会の実現を図るための事業です。町民の提案による公共・公益性の高いまちづくり活動に対し、町が補助金を交付し、町民が事業を実施します。昨年度は次の2事業が行われました。

◎高鍋元気なまちづくりコミュニケーション広場

NPO法人 児湯・高鍋ライフセービング
 スポーツクラブ

▲参加者： 108人
 ▲補助額：402,000円

子どもから高齢者まで、幅広い世代が交流することを目的に、さまざまな運動遊びをしながらコミュニケーションを取り合い、交流を深めました。



◎ふれあいサロン「よっちみろ会」

NPO法人 NPOきづな

▲参加者： 113人
 ▲補助額：72,000円

高齢者や障がい者が健康で楽しく暮らせるようになることを目的に、出前講座などで勉強するとともに、体操教室や料理教室で実際に体を動かすサロンを開きました。

